



# みなみの空

## ① 学期はお世話になりました

コロナ禍の中で始まった令和3年度でした。運動会、修学旅行の延期を余儀なくされました。様々な制約のある学校教育となってしまいました。そんな中でも、運動会ができたことを喜んでくださる保護者や地域の皆様に支えられながら、1学期を終えようとしています。学校へのご理解やご支援に心より感謝申し上げます。

運動会後に、1年生が鼓笛隊の真似をして歩く姿を見ました。小さい子たちにとって、鼓笛隊はあこがれのなのだと感じました。このあこがれは、その子の自分の成長への期待でもあります。この気持ちは、とても大切です。「将来なりたい自分」のモデルが身近にいることを感じながら学ぶことは、成長への大きなエネルギーになります。心から、運動会を実施してよかったですと感じています。改めて、長時間立って応援してくださった保護者の皆さんの姿を思い出し、感謝の気持ちになりました。



夏休みは、子どもらしく過ごす時間をたくさん持ってほしいと願っております。ゲーム漬けの白い顔ではなく、日焼けして大きく逞しくなった姿で学校に戻ってきてくれたらと願っています。



休み中に何か一つ初めてのこと、ドキドキ・ワクワクすること、感動すること、おいしいもの、きれいなもの、温かい心、優しい心、勇気を出すこと、乗り越えること、ねばり強くすること、満足することなどを体験できたらすばらしいです。何かを買い与えたり、どこかへ行ったりしなくても、すばらしい体験はたくさんあると思います。心の宝物になるのは、お父さんとのキャッチボールだったり、お母さんとのお料理だったりするのではないのでしょうか。成長につながる体験をいっしょにしてみましょ。

心配なのは、事件・事故に遭うことです。学校でもしっかり指導しましたので、自分の命と心を自分で守ることができるように、声をかけていただきたいと思います。

## ○ コロナ情報 ○

- (夏休み中の行事) 町水泳記録会(6年生)7/21 無観客実施  
学校のプール 午前限定して6回実施(着替え場所等の密防止)  
部活動 各部の計画で実施(感染対策をする)
- (2学期はじめの行事) 宿泊学習(5年生) 8月中旬までに決定  
校内水泳記録会 無観客で実施予定

## おまけ 誠君の夏休み

私が小学生だった、50年くらい前の話をします。ドリフターズ、巨人の星の頃です。エアコンなどありません。朝起きると、すでに汗をかいていました。ラジオ体操に行くと、女子に「また誠君遅刻！」といやみを言われ、「お前の母ちゃんべそー。」などと失礼な事を言い返していました。朝食後、自転車で出発です。予定はありません。公園を通ると、悪友が集まっています。かんけり、だるまさんが転んだ、馬乗り、めんこ、などなど…。

昼食で一旦散って、午後再び大集合。20~30人くらいになるのは、いつものことでした。けんかになることもありました。けんかには暗黙のルールがあって、怪我するほど乱暴になると周囲の子が止めていたものです。卑怯な真似は、その場の全員から非難されます。でも、いつの間にか仲直りして、日が傾くまで遊びました。

子どもには子どもの世界があり、子どものルールがありました。自分たちで工夫して遊びを作っていたからでしょう。今の子ども達もネットで人と関わります。そこにもルールはあるのですが、大人の作った世界の中です。悪意のある者が混ざっています。保護者の皆さんがガキ大将に戻って子ども達と遊んで、心豊かな体験をしてみる夏休みはいかがでしょう。

